マンスリーレポート

amova
アモーヴァ・アセットマネジメント

アモーヴァ／BSマネージャーセレクトファンド
（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

ファンドの特色

1 各コース毎のマザーファンドを通じ、主として為替リスクの異なる指数連動債へそれぞれ投資を行なうことで、絶対収益追求型のマルチストラテジーファンド（以下、参照ファンドといいます。）のパフォーマンスに対して概ね1.5倍程度の運用成果を日々享受することをめざします。

- 参照ファンドにおいては、世界の株式、債券、不動産投信、商品（コモディティ）、通貨およびこれらに関連する上場投資信託証券やデリバティブ取引に係る権利などに幅広く分散投資を行ないます。その際、複数の運用戦略を組み合わせ、市況動向に左右されず絶対収益の獲得をめざします。
- 実質的な投資対象である指数連動債は、参照ファンドのパフォーマンスをもとに計算される各指数（以下、参照指数といいます。）に連動します。各指数は、参照ファンドのパフォーマンスに対して概ね1.5倍程度の運用成果を日々反映し、円で算出されます。

※ 市況動向および設定・解約による資金動向、収益分配の影響などから、日々の騰落率が、必ずしも参照ファンドの1.5倍になるとは限りません。

※ 中長期的には、複利の効果などにより、参照ファンドのパフォーマンスとのかい離がプラスにもマイナスにも大きくなる傾向があります。そのため、累積パフォーマンスが1.5倍になる訳ではありません。

※ 一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に基づき、参照ファンドにおいて当該制限を上回る信用リスクの集中が生じた場合、当該制限を遵守するべく、指数連動債における参照ファンドのパフォーマンスに対する日々の連動率が1.5倍から1倍もしくはそれ以下の比率へ引き下がる場合があります。このため、当ファンドのリターンが希薄化する可能性があり、当初想定した期待リターンを獲得できない場合があります。

2 世界最大級のオルタナティブ運用会社、ブラックストーンのマルチ・アセット部門（BXMA）が実質的に運用する、絶対収益追求型のマルチストラテジーファンドを活用します。

- 米国のオルタナティブ運用会社、ブラックストーンの子会社である、ブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー（BAIA）が、参照ファンドの運用を行ないます。BXMAは、BAIAを含む、複数の運用子会社などで構成されています。

3 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。

- 部分的な為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの軽減を図る*1「為替ヘッジあり」と、為替変動の影響を直接受ける*2「為替ヘッジなし」の2つのコースがあり、お客様の運用ニーズに応じてお選びいただけます。

＊1 為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。

＊2 円安時には為替差益が期待される一方、円高時には為替差損が発生します。

※ 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

当ファンドの実質的な投資対象である、絶対収益追求型のマルチストラテジーファンドには、一般社団法人資産運用業協会規則の信用リスク集中回避のための投資制限に定められた比率を超えるまたは超える可能性の高い支配的な銘柄が存在する場合があり、当該支配的な銘柄に集中して投資することがあります。そのため、当該銘柄に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

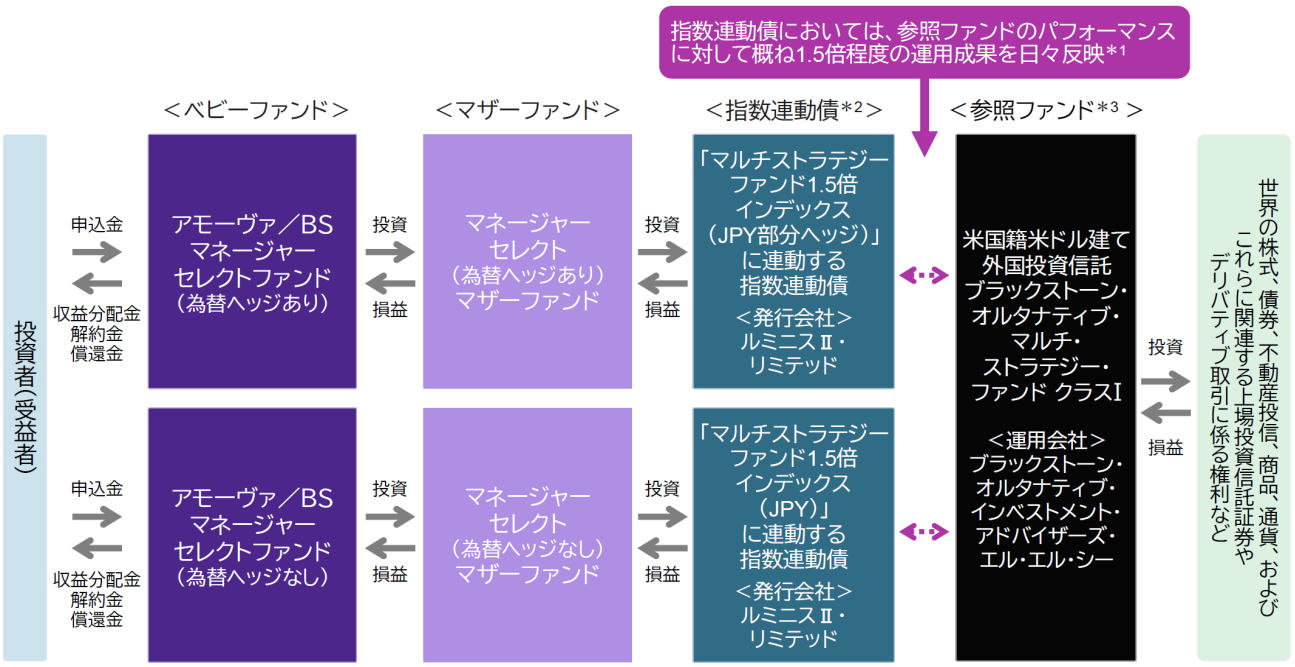
投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



＊1 指数連動債の発行会社が、ゴールドマン・サックス・インターナショナルと指数参照担保付スワップ取引を行なうことにより、提供可能となるスキームです。
＊2 指数連動債の計算代理人はゴールドマン・サックス・インターナショナルです。
＊3 参照ファンドは、所定の条件により、当初の経済上の投資目的を商業的に実務上可能な限り維持する新規の代替ファンドまたは類似の実質投資ファンドへ切り替わる可能性があります。
※ 各ファンド間で、スイッチングを行なうことができます。ただし、販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングを行なえない場合があります。

参照ファンドの概要

ファンド名	ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンド クラスI（BXMIX）
形態	米国籍米ドル建て外国投資信託
設定日	2014年6月16日
運用会社	ブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー（BAIA）
投資目的	BXMIXは、投資元本の成長を追求し、値上がり益の最大化と、市場下落時の損失抑制に重点を置いたリターンの実現をめざします。また、オルタナティブ資産への広範な分散投資を通じて、ポートフォリオ全体の価格変動リスクの抑制と、伝統的資産との相関性を低く抑えることをめざします。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

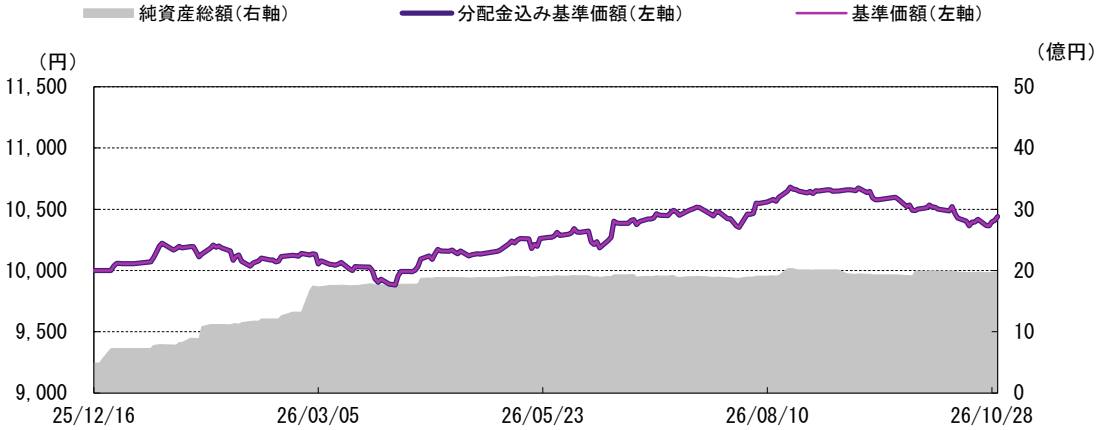
アモーヴァ／BSマネージャーセレクトファンド(為替ヘッジあり)

設　定　日：2025年12月16日　償　還　日：2035年９月10日　決　算　日：原則、毎年９月10日
収 益 分 配：決算日毎　基 準 価 額：10,442円　純資産総額：19.79億円

※当レポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

運　用　実　績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前) を再投資したものとして 計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

＜基準価額の騰落率＞

１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
-0.48%	0.87%	3.01%	-	-	4.42%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

26･9･10				
0円				

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

＜資産構成比率＞

公社債	89.4%
その他資産	0.0%
現金その他	10.6%

※資産構成比率はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。
※計理処理の関係で、資産の合計が純資産総額(100%)を超える場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

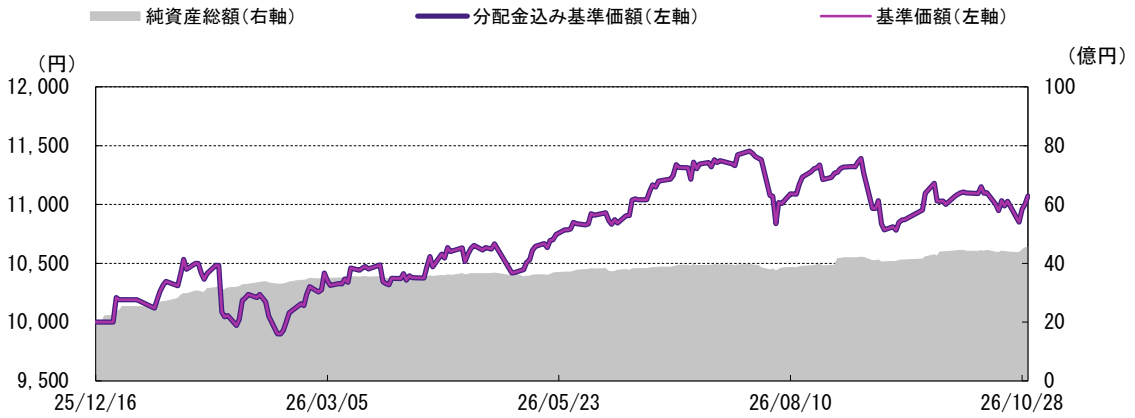
アモーヴァ／BSマネージャーセレクトファンド(為替ヘッジなし)

設　定　日：2025年12月16日　償　還　日：2035年９月10日　決　算　日：原則、毎年９月10日
収 益 分 配：決算日毎　基 準 価 額：11,071円　純資産総額：45.51億円

※当レポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

運　用　実　績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

＜基準価額の騰落率＞

１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
0.41%	-2.72%	4.25%	-	-	10.71%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

26･9･10				
0円				

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

＜資産構成比率＞

公社債	91.3%
その他資産	0.0%
現金その他	8.7%

※資産構成比率はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。
※計理処理の関係で、資産の合計が純資産総額(100%)を超える場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの参照ファンドであるBXMIX(ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンドクラスI) のデータです。

※ブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー(BAIA)より提供された最新の 公開情報をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。

ご　参　考　情　報

データ基準日　　2026年9月30日

運用資産残高	約37億米ドル
サブ・アドバイザー数	22
外部ファンド数	3

※外部ファンド数とは、BAIAがサブ・アドバイザー契約に基づきファンド内の運用として組み入れている形態ではなく、投資家（LP等）として、またはその他の投資形態を通じて、第三者の運用機関が運用するファンドに投資している件数を指します。

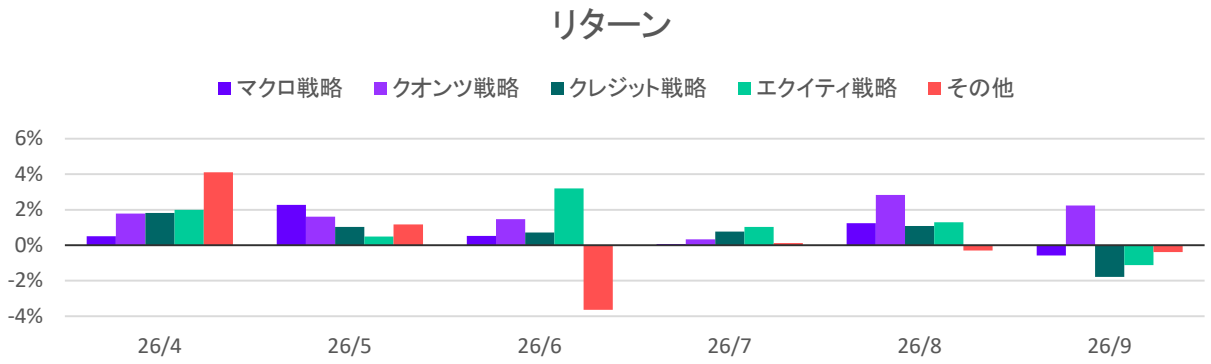
ファンドパフォーマンス

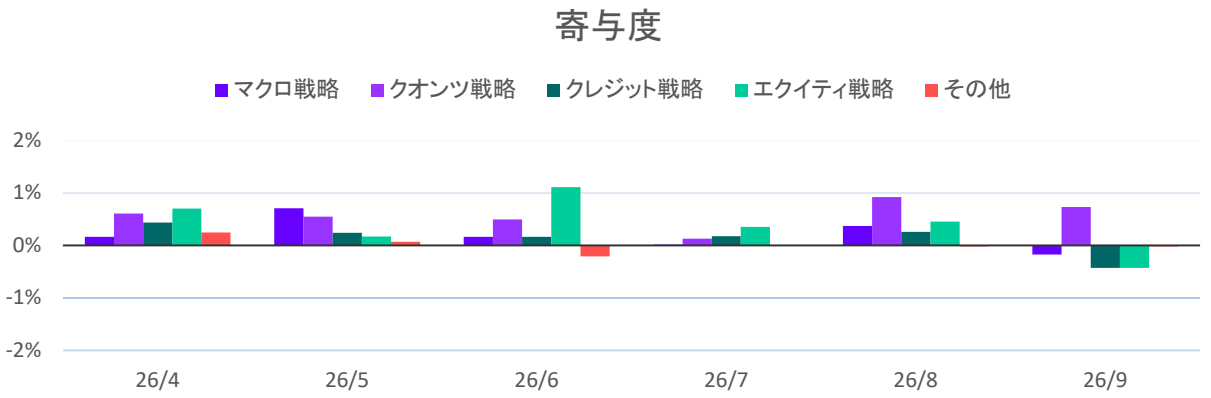
	月初来	四半期初来	年初来
参照ファンド(BXMIX) ※1	(0.68%)	1.39%	6.38%
HFRX Global ※2	(0.44%)	(0.82%)	3.93%

※1 (BXMIX)はブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー（BAIA）が運用する絶対収益追求型のマルチストラテジーファンドで、当ファンドの参照ファンドです。上記のパフォーマンスは速報値および監査前の数値であり、全ての手数料と費用を控除したネット・リターンです。

※2 HFRX GlobalはHFRXグローバル・ヘッジファンド・インデックスです。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

要因分析　※グラフは直近６か月のみ





※過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンド クラスⅠ（BXMIX）が目標を達成する、または著しい損失を回避することを約束するものではありません。

※サブ戦略別のリターンおよび寄与度は、すべての手数料および費用控除前（グロス）ベースで表示しており、未監査の参考情報として提供しております。

※費用はファンドレベルで発生し、各サブ戦略に配分されていないため、サブ戦略別に費用を反映したネットリターンを表示することはできません。

※ポートフォリオのアロケーションには一部の直接投資が含まれます。これらの配分は、ファンドのサブ・アドバイザーによる各サブ戦略および投資先ファンドの戦略区分に基づいて分類したものであり、必ずしも記載された特定の資産クラスに対するファンドの実際のエクスポージャーを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの参照ファンドであるBXMIX(ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンドクラスI) のデータです。
※ブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー(BAIA)より提供された最新の 公開情報をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。

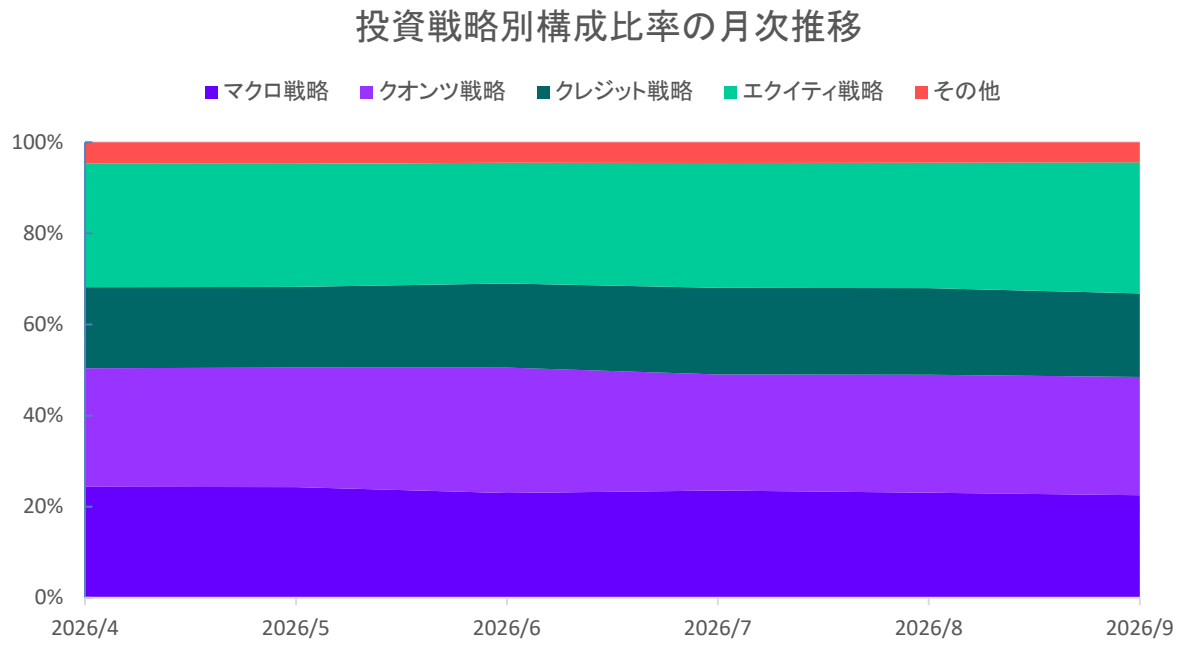
ご　参　考　情　報

データ基準日　　2026年9月30日

投資戦略別構成比率

投資戦略	配分
マクロ戦略	22%
クオンツ戦略	26%
クレジット戦略	18%
エクイティ戦略	29%
その他	4%

※ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンド・クラスI（BXMIX）はアクティブに運用されており、資産配分は随時変更される場合があります。
※ポートフォリオのアロケーションには一部の直接投資が含まれます。これらの配分は、ファンドのサブ・アドバイザーによる各サブ戦略および投資先ファンドの戦略区分に基づいて分類したものであり、必ずしも記載された特定の資産クラスに対するファンドの実際のエクスポージャーを示すものではありません。



※グラフは直近６か月のみ

※上記の戦略区分の定義は、さまざまな投資スタイルを有意に区別することを目的として整理されたものです。ブラックストーンのマルチ・アセット部門（BXMA）の投資先マネージャーは、BXMAが把握する限りにおいて、これらの戦略定義に基づき分類されています。投資先マネージャーがその投資目的を達成するとの保証はありません。また、当レポートに記載されている一部のデータは、当該マネージャー［またはその他の情報源］から取得またはこれに基づき作成されたものであり、不完全である場合や、最新の情報ではない可能性があります。BXMAは、これらの情報の正確性または完全性について、いかなる保証も行なうものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの参照ファンドであるBXMIX(ブラックストーン・オルタナティブ・マルチ・ストラテジー・ファンドクラスI) のデータです。
※ブラックストーン・オルタナティブ・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー(BAIA)より提供された最新の 公開情報をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。

ご　参　考　情　報

データ基準日　　2026年9月30日

サブ・アドバイザーおよび外部ファンドの内訳

BXMIXが採用するサブ・アドバイザーおよび外部ファンド＊は以下の通りです。

投資戦略分類	マネージャー名	ストラテジー
マクロ戦略	Emerging Markets Manager	レラティブ・バリュー
	Merritt Point Partners LLC	マクロ
	Asgard Asset Management A/S	マクロ
	Rokos Capital Management LP	マクロ
	Kirkoswald Capital Partners LP	マクロ
クオンツ戦略	D.E. Shaw Investment Management, L.L.C.	マルチ・ストラテジー
	OT Research	エクイティ・ヘッジ
	Two Sigma Advisers, LP	エクイティ・ヘッジ
	Varick Capital Partners LP	マクロ
	Capital Fund Management, S.A.	マルチ・ストラテジー
クレジット戦略	Bayview Asset Management, LLC	レラティブ・バリュー
	Blackstone Real Estate Special Situations Advisors L.L.C.	レラティブ・バリュー
	Blackstone Liquid Credit Strategies LLC	レラティブ・バリュー
	Caspian Capital LP	イベント・ドリブン
	Mariner Investment Group, LLC	レラティブ・バリュー
	Oak Hill Advisors, L.P.	レラティブ・バリュー
エクイティ戦略	Callodine Capital Management, LP	エクイティ・ヘッジ
	Catalio Capital Management, LP	エクイティ・ヘッジ
	Dardanelles Capital LP	エクイティ・ヘッジ
	Fort Baker Capital Management LP	イベント・ドリブン
	Harvest Fund Advisors LLC	エクイティ・ヘッジ
	Maren Capital LLC	エクイティ・ヘッジ
	North Reef Capital Management LP	エクイティ・ヘッジ
	Seiga Asset Management Limited	エクイティ・ヘッジ
	Seven Grand Managers LLC	イベント・ドリブン

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＊BXMIXが投資先の選定や売買の実行を委託するヘッジファンド運用会社
※ブラックストーンまたはその関連会社が財務的利害関係を有する運用会社へのブラックストーンによる資産配分は、ブラックストーンに利益をもたらします。かかる配分の償還または削減はブラックストーンに不利益をもたらし、配分決定における潜在的な利益相反を生じさせる可能性があります。
※Blackstone Alternative Investment Advisors (BAIA) はファンド資産の一部を直接運用しており、直接運用部分に関してBAIAが受け取る信託報酬は、サブ・アドバイザーへの報酬支払いによって減額されることはありません。サブ・アドバイザーおよびBAIAへの配分比率は随時変動します。
※マクロ戦略には、Kirkoswald Capital Partners LP、Rokos Capital Management LP、Ruffer LLP、Asgard Asset Management A/Sが運用する外部ファンドが含まれます。各ファンドへの配分比率は、予告なく変更される場合があります。
※「投資戦略分類」はBXMIXが使用する投資戦略分類です。上記分類は、将来、変更されることがあります。
※現在非アクティブなサブ・アドバイザーは、現時点においてファンド資産の運用を行なっておりません。配分比率は事前の通知なく変更される場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

コメント

※以下のコメントは、ブラックストーンが提供した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。

◎運用概況

※運用概況は毎月更新されます。

当月、リスク性資産は軟調に推移しました。米国の中間選挙を11月に控える中、米国とイランの交渉に目立った進展はみられず、地政学的な不透明感が続きました。欧州では上旬、フランスの政治・財政不安を背景に同国債が売られ、対ドイツ国債スプレッドが拡大しましたが、下旬にはムーディーズによる格付け据え置きもあり、売りは一服しました。債券市場では、「質への逃避」の動きから国債への需要が高まり、欧米の金利は低下（債券価格は上昇）しました。株式市場では、テクノロジー・人工知能（AI）関連株が下落した一方、ディフェンシブセクターや米国株の一部は上昇しました。クレジット市場では、多くのセクターでスプレッドが拡大しました。為替市場では、米ドルは主要通貨に対してまちまちの動きとなりました。コモディティ市場も強弱混在となり、地政学的な不透明感や世界的なエネルギー供給への懸念を背景に原油が上昇した一方、金や銀は下落しました。

10月のヘッジファンド市場のパフォーマンスはマイナスとなりました。株式ロング・ショート戦略では、米国および欧州の小型株の下落を受けて、ファンダメンタル・グロースのマイナスが大きくなりました。マクロ戦略のパフォーマンスもマイナスとなりました。米ドルが主要通貨に対してまちまちの動きとなる中、システムトレンドフォローが不振でした。相対価値戦略のパフォーマンスもマイナスとなりました。ボラティリティの上昇を受けて転換社債アービトラージが大きく下落しました。イベントドリブン戦略のパフォーマンスもマイナスとなりました。

◎投資概況【参照ファンド（BXMIX）の最新運用概況（9月末時点）】

※投資概況は、参照ファンド（BXMIX）に関するものです。四半期ごとに更新され、当レポート作成時点で最新のものです。

参照ファンドの2026年7～9月の3カ月間のパフォーマンスはプラスでした。4つの戦略別では、クオンツ戦略のプラス寄与が最大となりました。システマティック・フューチャーズ（機械的な先物取引戦略）は、株式のロング、金利のショート、エネルギーのロングポジションが奏功し、プラス寄与しました。エクイティ戦略もプラス寄与しました。イベント・ドリブンおよび金融セクターに特化したサブ戦略のプラス寄与が、エクイティ戦略の中で最も大きくなりました。クレジット戦略では、コーポレート・クレジットおよびストラクチャード・クレジットが、キャリー収入や銘柄選択効果を背景にプラス寄与しました。一方、金利上昇および金利ボラティリティの急激な上昇を背景に、モーゲージ・ベーシスのエクスポージャーはマイナス寄与しました。

◎今後の見通し

BXMIXは、資産クラスを横断するグローバルな投資プラットフォームを活用し、さまざまな市場環境に対応できる「全天候型」のポートフォリオを構築することにより、市場動向に左右されずに絶対収益を獲得することを目的としています。マクロ経済動向を踏まえながら、相対価値戦略や市場急変時に備える戦略など、異なる特性を持つ複数のアプローチを組み合わせることで、リスクを適切に管理しつつ、高水準のリターン創出を目指します。

ポートフォリオ全体の戦略配分及びマネージャー配分は、世界最大級のオルタナティブ資産運用会社であるブラックストーン社が担います。4つの主要な戦略カテゴリーは、それぞれ異なる収益機会を原動力としており、特定の市場環境に依存しにくい構成となっています。このため、戦略間の分散効果が高く、ポートフォリオ全体で安定性の向上が期待できます。また、本戦略はそれぞれに専門性や強みを持つ複数の運用者が参画する「マルチマネージャー制」を採用し、ポートフォリオの高度な分散を通じて運用効率の向上を図っています。近年は、株式と債券の値動きが同一方向となることが起こりやすく、従来の分散投資の有効性が低下している局面が見られますが、BXMIXのポートフォリオは、こうした環境下においても分散効果を提供し得る設計となっています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
信託期間	2035年9月10日まで（2025年12月16日設定）
決算日	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金申込日、購入・換金申込日の翌営業日または購入・換金申込日の翌々営業日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※各ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対し年率4.54%（税抜4.45%）程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.99%（税抜0.9%）、投資対象とする指数連動債に係る報酬率が年率0.625%程度、実質的に投資対象とする参照ファンドに係る信託報酬率が年率2.925%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、指数連動債の組入率のほか、指数連動債における参照ファンドの純資産や連動率の状況などの影響を受けて変動します。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 指数連動債における資金借入費用として、円無担保コール翌日物金利に一定の水準を加算したものが参照指数の算出において控除されます。指数連動債における参照ファンドの連動率が1.5倍程度であるために生じる費用で、日々変動します（2025年9月末現在0.658%程度）。なお、上記連動率が1倍以下となった場合には、当該費用はかかりません。また、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
受託会社　三井住友信託銀行株式会社
販売会社　販売会社については下記にお問い合わせください。
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕www.amova-am.com
〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

〇リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドには、投資対象とする指数連動債に対するリスクおよび指数連動債を通じて実質的に投資を行なうブラックストーンが運用する絶対収益追求型のマルチストラテジーファンド（以下、参照ファンドといいます。）に対するリスクがあります。

投資対象とする指数連動債の発行体は、ゴールドマン・サックス・インターナショナル（以下、「GSI」といいます。）との間で、連動対象指数に概ね連動する投資成果と発行体の保有する資産の投資成果を交換する取引（スワップ取引）を行ないますので、取引相手であるGSIが債務不履行に陥った場合などに、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

また、実質的に投資対象とする参照ファンドは、主に株式、債券、不動産投信、商品（コモディティ）、通貨およびこれらに関連する上場投資信託証券やデリバティブ取引（株価指数先物取引、債券先物取引、　金利先物取引、商品先物取引、排出権先物取引、通貨先物取引など）にかかる権利などを投資対象としますので、発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および商品（コモディティ）などの市況の悪化、および上場投資信託証券やデリバティブ取引にかかる権利の価格の下落などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合があるほか、為替予約取引や通貨に関連するデリバティブ取引なども積極的に活用しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする指数連動債の主なリスクは以下の通りです。

信用リスク

・指数連動債の発行体が行なうスワップ取引において、取引相手となるGSIが債務不履行に陥った場合などには、指数連動債は繰上償還される可能性が高まります。この場合、発行体は連動対象指数と保有資産のリターンの差を受け取ることができない可能性があり、原則として、即座に保有資産を換金しますが、本来享受できるリターンよりも少額となる可能性があります。

為替変動リスク

◆為替ヘッジあり（JPY部分ヘッジ）

・指数連動債において、原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行なうことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が米ドルの金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。また、参照ファンドにおいて運用される資産が米ドル以外の通貨である場合には、為替ヘッジの効果が限定的となる場合があります。

◆為替ヘッジなし

・指数連動債において、原則として為替ヘッジを行なわないため、当該資産の通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

早期償還に伴なうリスク

・指数連動債が早期償還された場合には、早期償還額は発行価格を下回る場合があり、債券の価値が大幅に下落し、元本が失われる可能性もあります。早期償還が実施された場合には、満期まで保有した場合に比べて受取額が少なくなる可能性があります。

・指数連動債が早期償還されて存続できなくなった場合、ファンドは繰上償還されますので、運用を継続した場合に得られる可能性があった収益を獲得できなくなります。

集中投資回避に伴なうリスク
・指数連動債は、参照ファンドのパフォーマンスに対して概ね1.5倍程度の運用成果を目指す一方で、一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に基づき、実質的に投資対象とする参照ファンドまでルックスルーした各エクスポージャーが当該制限を超える可能性がある状況においては、当該制限を遵守するために、投資対象とする指数連動債における参照ファンドに対する連動率が概ね1.5倍から1倍もしくはそれ以下の比率へ引き下がる場合があります。このため、当ファンドのリターンが希薄化する可能性があり、当初想定した期待リターンを獲得できない場合があります。
・なお、委託会社において、当該制限を遵守するために必要な情報の入手が長期にわたり行なえないなどやむを得ない事情が生じた場合には、その後の当ファンドの運用継続が困難となることから繰上償還となるリスクがあります。

実質的に投資対象とする参照ファンドの主なリスクは以下の通りです。
価格変動リスク
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
・不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴なう不動産の滅失・毀損などにより、その価格が影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。
・コモディティやその関連証券の価格は、投資対象となる商品および当該商品が関係する市況や市況の変化などの要因により変動します。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。
・上場投資信託証券の価格は、連動目標とする資産価格および当該資産が関係する市況や市況の変化などの要因により変動します。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。
・株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、商品先物取引、排出権先物取引および通貨先物取引にかかる権利の価格は、投資対象となる原資産の値動きや先物市場の需給および金利の動きなどの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、当該先物取引にかかる権利の値動きに予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
流動性リスク
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券およびデリバティブ取引にかかる権利などの取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも損失が生じるリスクがあります。
・上場投資信託証券について、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も上場投資信託証券の価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。

為替変動リスク
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・世界各国の為替予約取引などを積極的に行なうため、為替変動の影響を大きく受ける場合があります。

デリバティブリスク
・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

レバレッジリスク
・世界各国のデリバティブ取引や為替予約取引などを積極的に用いてレバレッジ取引を行ないます。したがって、市況変動などの影響を大きく受けます。

絶対収益型の運用におけるリスク
・アービトラージ戦略、マーケット・ニュートラル戦略、ロング・ショート戦略およびグローバル・マクロ戦略などでは、買い持ちしている銘柄が、売り持ちしている銘柄よりも上昇率が高いまたは下落率が小さい場合に収益を得ることができますが、買い持ちしている銘柄が売り持ちしている銘柄よりも相対的に下落した場合は損失が発生します。
・株式・債券の空売りを積極的に行ないますので、組み入れている現物資産の価格が上昇しても、基準価額が値下がりする場合があります。
・投資資金の調達または市場エクスポージャーの確保などを目的として借入を行なうことがあります。借入を行なわない場合と比較して、基準価額の変動幅が拡大し、損失が大きくなる可能性があります。また、利息や手数料の負担が基準価額を押し下げる要因となるほか、借入の返済や一部縮小のため不利なタイミングで保有資産を売却せざるを得ない状況が生じる可能性があります。
・各運用マネージャーの投資判断が相反するものとなる場合や、同一資産に重複して投資する場合があるため、結果的に期待されたパフォーマンスを下回り、十分な運用成果が得られないことがあります。

延長リスク／期限前償還リスク
・モーゲージ証券や資産担保証券においては、原資産となっているローン（住宅ローン、リース・ローンなど）の期限前返済の増減に伴なうデュレーションの変化によって、当該証券の価格が変化するリスクがあります。一般に金利上昇局面においては、ローンの借換えの減少などを背景に期限前償還が予想以上に減少し、金利低下局面においては、ローンの借換えの増加などを背景に期限前償還が予想以上に増加する傾向があります。

期限前償還に伴なう再投資リスク
・モーゲージ証券や資産担保証券が期限前償還された場合には、償還された金銭を再投資することになりますが、金利低下局面においては、再投資した利回りが償還まで持ち続けられた場合の利回りより低くなることがあります。
排出権先物取引におけるリスク
・カリフォルニア州炭素排出権を対象とした先物取引は、排出権自体の需給に加えて、政治、司法、規制などの要因により価格が変動するリスクがあります。
集中投資リスク
・一銘柄あたりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。

※ファンドが投資対象とする指数連動債および実質的に投資対象とする参照ファンドは、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〇その他の留意事項
・当資料は、投資者の皆様に「アモーヴァ／ＢＳマネージャーセレクトファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

※ 当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。
※ HFRXヘッジファンド・インデックスは、HFR Holdings, LLC（以下、HFR）の商標です。その使用については、ライセンス契約に基づいてHFRからアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に許諾されています。HFRは、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社、その関連会社、又はそれらの金融商品とは一切関係ありません。HFRは、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社のいかなる金融商品の組成にも関与しておらず、それらの金融商品への投資を支持、承認、推奨するものではありません。また、それらの当該金融商品に関連するいかなる種類又は性質の損害に対しても責任を負いません。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

●アモーヴァ／ＢＳマネージャーセレクトファンド（為替ヘッジあり）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求･お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本ＳＴＯ協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○

●アモーヴァ／ＢＳマネージャーセレクトファンド（為替ヘッジなし）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求･お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本ＳＴＯ協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。